

問題



この漫画のタイトルは1〜5のうちのだれだと思えますか？

○ 印を付けて下さい

1. 踏ん切りがつかない
2. 引っ込みがつかない
3. 呂律が回らない
4. 足が地に付かない
5. 元も子もない

1. 下へも置かない
2. 聞く耳は持たない
3. 二目と見られない
4. 口ほどにもない
5. 腑に落ちない



問題

とんちが笑の仏



口^{くち}ほどにもない

あたくし(4)のタイプが 好きなの



あたくし自慢するわけではございませんが、いろいろな殿方とお付き合いさせていただいてきました。その経験から4つのタイプに分類できると思います。

- (1) 口は達者だが実力がない。
- (2) 口が達者で実力もある。
- (3) 口下手で実力もない。
- (4) 口下手だが実力はある。

の4つに。

(1)のタイプはあたくし好きになれません。好きになれませんが、このタイプがいちばん多いような気がします。

このタイプのかたは、決まって「大きなことを言うつもりはないが」とか、「自分で言うのも何だけど」とか、「こんなことを言う」と笑われるかもしれないが「などの前置きをつけて自分の力を誇示なさいませうけど、ほとんど前置き通りですよ。」

大きなことを言うつもりはないがは、自分の実力を七倍も大きく言うし、自分で言うのも何だけだったら、言わなきゃいいのよ。こんなことを言う」と笑われるかもしれないがほとんど笑っちゃうのよ。

(3)は(1)よりは罪は軽いけど、好きにはなれませんの、頼りにならないから。(2)は頼りにはなるけれど、ややうるさいのよ。

あたくし自慢するわけではございませんが、いろいろな殿方とお付き合いさせていただきましたけれど、やっぱり、口下手だけど実力のある(4)がいちばん好きなの。実力って、夜の實力のことかって？ 何の實力だと思ったの？





引っ込みが付かない

湯上がりの妻



「引っ込めることのできない所まで腕を伸ばすな」は、歴史小説「アイヴァンホー」の著者であるイギリスの作家スコットのことばである。腕もだが、口もそうである。つい言っ
てしまつて引っ込みが付かなくなることがま
まある。

大家「大家といえは親も同然。店子(たなこ)といえは子も同然」
店子「だったら父ちゃん、小遣いおくれ」
大家「・・・(大家引っ込みが付かない)」
母親「お母さんはあんなのような子を産んだ

おぼえはありません」
息子「やったー、これからはPTAにはい
かないだね」
母親「・・・(母親引っ込みが付かない)」
私にも経験がある。
高村光太郎の詩に触発された私は妻に言っ
た。
「高村光太郎という人を知っているか」
「お会いしたことはありません」
「お会いできないよ、生きてないから」
「その人が何か？」
「その人が言つておるんだよ『おんなが付属
品をだんだんと乗(す)てると、どうしてこ
んなにきれいになるのか』って」
「どういう意味？」
「素顔ほど美しいものはないという意味だ
よ」
その夜。
「失礼ですけど、あなたはどちらさまです
か？」と思わずきいてしまった。湯上がりの
妻のスッピンの顔を初めて見て。
化粧とゆうものが、これほど人の顔を変え
るものなんだと初めて知った。
ニツと笑つた妻の素顔に背筋に冷たい風が
吹いたが、もはや引っ込みが付かなくなつた
私は「それでいいのだ」とつぶやいた。

